平成十一年広島県告示第三百六十八号 (広島県環境影響

評価技術指針) の一部を改正する告示



外

162

号

묵

発行者 広

島 広島県総務部 総務管理局文書法制室

目

次

広島県告示第九百八十九号

に改正する。 平成十一年広島県告示第三百六十八号 (広島県環境影響評価技術指針) の一部を次のよう

平成十八年十一月三十日

広島県知事 藤 田 雄

Ш

ಠ್ಠ を削り、「これらが」を「これらを」に改め、穴を八とし、①を穴とし、 二の2中 「、環境影響評価項目等の選定に当たって必要な程度に応じ、 穴の次に次を加え 事業計画により」

(七) その内容 当該事業に係る内容の具体化の過程における環境保全の配慮に係る検討の経緯及び

|の2中四を5とし、三を四とし、二を三とし、一を二とし、二の前に次を加える。 当該事業の背景、経緯及び必要性

一の3中「これらの出典が明らかにできるよう整理」を「当該情報に係る過去の状況の推

削除を行って」を「を勘案しつつ、事業特性及び地域特性を踏まえ」に改め、後段として次 |一の4の四中「標準項目」を「参考項目」に、「に対して、必要に応じて項目の追加又は

理するとともに、必要に応じ」に改める。

2,700円 移及び将来の状況を把握」に、「必要に応じて」を「これらの出典を明らかにできるよう整

(環境調整室) 購読料 月 額 該工作物の撤去又は廃棄が予定されている場合には、当該撤去又は廃棄」を加える。 工作物の撤去又は廃棄が行われる場合には、当該撤去又は廃棄を含む。)」を加える。 に改める。 二の4の二の①中「工事の実施」の下に「(当該事業の一部として、事業実施区域にある 二の4の二の②中「(当該」を「及び状態並びに当該」に改め、「人の活動」の下に 二の3の表の3の (中「広島県公害防止条例」を「広島県生活環境の保全等に関する条例

「 (当

のように加える。 把握するものとする。 二の4の圧を次のように改める この場合において、

同表備考第二号に掲げる一般的な事業の内容と事業特性との相違を

「専門家等」という。) の助言を受けて行うものとする。 項目の選定は、必要に応じ専門家その他の環境影響に関する知見を有する者 (以下

にできるよう整理するものとする。 なお、当該助言を受けた場合には、その内容及び当該専門家等の専門分野を明らか

二の4の穴を削る。

二の4の七中「(削除した場合には、削除の理由)」 を削り、二の4中七を穴とする。

一の5の二の②中「応じて」を「応じ」に改める。

二の5の三の②中「状況」を「状態及び利用の状況」に改める。

二の5の四中「廃棄物及び」を「廃棄物等に関してはそれらの発生量、 最終処分量その他

の環境への負荷の量の程度を、」に、「関し、」を「関しては」に改める。

二の6の一中「基本方針」を「方針」に改め、後段として次のように加える。

て変化することに留意するものとする。 この場合において、地域特性を考慮するに当たっては、当該地域特性が時間の経過に伴っ

一の6の (の1)中 「現状」を「状況」に改める。

|の6の一の5中「時期、期間」を「期間、 時期」 に改める

二の6の二の①を次のように改める。

(1)言を受けて行うものとする。 調査の手法の選定は、事業特性及び地域特性を踏まえ、必要に応じ専門家等の助

かにできるよう整理するものとする。 なお、当該助言を受けた場合には、 その内容及び当該専門家等の専門分野を明ら

二の7の()中「基本方針」を「方針」に改める。応じ観測結果の変動が少ないことが想定される時期に開始する」を加える。二の6の()の③中「設定する」の下に「ものとし、年間を通じた調査については、必

響が最大になる時期(最大になる時期を設定することができる場合に限る。)並びに」に改二の7の一の⑷中「供用後の定常状態及び」を「供用開始後の定常状態になる時期及び影二の7の一の⑶中「応じて」を「応じ」に改める。

一の7の二の①を次のように改める。

言を受けて行うものとする。

 予測の手法の選定は、事業特性及び地域特性を踏まえ、必要に応じ専門家等の助

かにできるよう整理するものとする。なお、当該助言を受けた場合には、その内容及び当該専門家等の専門分野を明ら

予定されている場合」を加える。に「又は対象事業に係る工事が完了する前の土地若しくは工作物について供用されることが開始後定常状態」に、「要する場合又は」を「要する場合'」に改め、「変化する場合」の下開始後定常状態」に、「要する場合又は」を「工事が完了した後の土地若しくは工作物の供用「二の7の二の⑵中「供用後定常状態」を「工事が完了した後の土地若しくは工作物の供用

*叩える。| 二の7の二の⑷中「状況とする。) を」の下に「明らかにできるように整理し、これを」| 二の7の二の⑶中「妥当性を」の下に「予測の結果との関係と併せて」を加える。| 二の7の二の⑶中「妥当性を」の下に「予測の結果との関係と併せて」を加える。

る。 | 二の7の二の⑸中「必要に応じて」を「必要に応じ」に改め、後段として次のように加え

この場合において、評価に係る根拠及び検討の経緯を明らかにできるようにするものと二の8の一中「若しくは」を「又は」に改め、後段として次のように加える。結果のばらつきの程度により、予測の不確実性の程度を把握するものとする。この場合において、必要に応じ予測の前提条件を変化させて得られるそれぞれの予測の

二の8の二中「場合は、」の下に「次に掲げるところにより」を加える。

二の8の二に次を加える。

① 当該基準又は目標に照らすこととする考え方を明らかにできるようにすること。

四(評価の手法の選定は、必要に応じ専門家等の助言を受けて選定するものとする。二の8中四を伍とし、二の8の三の次に次を加える。

にできるよう整理するものとする。(なお、当該助言を受けた場合には、その内容及び当該専門家等の専門分野を明らか)

二の9の二を次のように改める。

二)参考手法の選定に当たっての留意事項)

に応じ参考手法より詳細な調査又は予測の手法により行うものとする。())手法を選定するに当たって次に掲げる要件に該当すると判断される場合は、必

ア 事業特性により、参考項目に係る著しい環境影響を及ぼすおそれのある場合

. つ、事業特性が当該参考項目に係る相当程度の環境影響を及ぼすおそれのある場つ、事業特性が当該参考項目に係る相当程度の環境影響を及ぼすおそれのある場で、対象事業の実施区域及びその周辺区域に次に掲げる地域又は対象が存在し、か

参考項目に係る環境影響を受けやすい地域又は対象

参考項目に係る環境の保全を目的として法令等により指定された地域又は対

(イ)

合

|地域||⑦|||参考項目に係る環境が既に著しく悪化し、又は著しく悪化するおそれがある

に応じ参考手法より簡略化された調査又は予測の手法により行うものとする。(手法を選定するに当たって次に掲げる要件に該当すると判断される場合は、必

(2)

参考項目に関する環境影響の程度が小さいことが明らかな場合

は対象が相当期間存在しないことが想定される場合イー対象事業実施区域又はその周囲に、参考項目に関する環境影響を受ける地域又

ワ(類似の事例により参考項目に関する環境影響の程度が明らかな場合

報が、参考手法より簡易な手法で収集できることが明らかな場合工「調査の手法については、参考項目に係る予測及び評価において必要とされる情

三の2の一の②中「当該選定項目」を「選定項目」に改める。

2

とに環境保全措置の具体的な内容を明らかにできるように整理するものとする。 三の3の二の(5中「環境保全措置」を「代償措置」に改める。 三の3の一の後段として、次のように加える。 この場合において、 当該検討を段階的に行ったときには、これらの検討を行った段階ご

三の3の二の5の次に次を加える。 た根拠 代償措置を講じる場合には、当該代償措置の効果の根拠及び実施が可能と判断し

三の4の一の2の次に次を加える。 (3)

(4) り詳細なものにする場合 工事の実施中及び土地又は工作物の供用開始後において環境保全措置の内容をよ 代償措置を講ずる場合であって、 当該代償措置による効果の不確実性の程度及び

別表第一から別表第五十四までを次のように改める。

当該代償措置に係る知見の充実の程度を踏まえ、

る場合

事後調査が必要であると認められ この表において「四半瀬エヤード」とは、工事中の作業に必要な区域として設置される区域をいう。この表において「切土工等」とは、日本中の作業に必要な区域の区域のして、仮存工作物の銀表及び第11の表において「当要な人と自然との触れ合いの作動の場」とは、不幹定かつ多数の容が利用している人とこの表において「主要な政盟党制」とは、不幹定かつ多数の容別開発を発露する場合の開発される表記では、この表において「主要な政盟党制」とは、本教堂の中数の名が利用している人の主の表において「主要な関盟を対し、「申しより、自然の治り財産」とは、中央地上なり、「は自ず人は全国党」とは、中級上なり、「は自りの関連である主要指令に関係を対し、「自然の権力の関係」とは表に合いて「関与を受ける事をのといる。」に関係を受ける事を、以いらんをび行われて「関与人等」とは、年代下学・日本の表にして、自然と本学、これらんをび合動をの選行とは単位を開発した。といる表にもの、「以いらんをび行る動をの選行とは単位を開発している。」とは、本代下学の人間によりに下、自然不享ましたのでは、いいらを以び自動を関係によったので、「全球主要にない」との表に関係により、高度を開発の対して下す。」と、大に掲げる記録を表の内容を発まえていたものである。この表における「関連を要ならるない」、大に掲げる記録を表の内分の表に同じる表にない、自然を需要とののなりは、大に掲げる必要と同じくの影響を受けるももれため、 十九八七六五四三 0 0 田東在物は土 田東の江港 以存存年又 運路の存在(禁上式) は難割式)道路の存在 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 実施工事の 0 0 0 御袋の茶箱が湯 のの場合を発売を発売された。 単地すべき生気び注目を収け出り 新物 に作り記 建設工事 生物素数でける地域でいる地域を特別を対している。 質 形 及 び 地 重 製 な 地 及び群帯重要な機 第3条の第十十年 日本 状物質符音器 資林報句 銀つつ器 # 图 图 □ 野出 申節 海道経費を 地質地形及び地形及び 動の様合いの形との他れたりを担任して他に 第头 焊擦 9 5 大質質 他の根様主体の環境をの # 15 海田分 X 程 E K 非非海海 25 30 海器片 28 境質素び対価されるべき環として調査、予制及能れ合いの確保を買入と自然との要かな 予期及び評価されるべき類 1 36 58 道路事業に係る参考項目

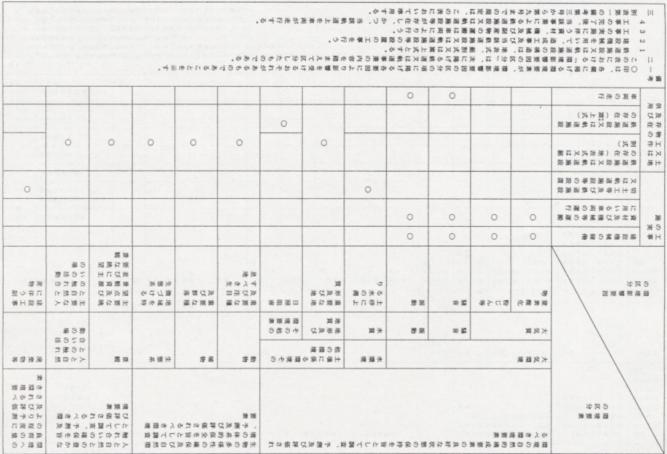
- 三 別表第一の備考第四号から第九号までの規定は、この表において常用する。
- 4 工事の完了後、当該事業による林道等が存在し、かつ、当該林道上を自動車が走行する。3 工事の実施に伴う資材、機械及び勘産物の運搬は車両により行う。
 - - 2 建設機械を用いて、造成工事及び林道等の設置の工事を行う。
- 1 林道の構造は、地表式、場割式又は嵩上式とする。 11 この表における「環境影響要因の区分」は、次に掲げる林道事業の内容を踏まえて区分したものである。
- 一 〇印は、各欄に掲げる環境要素が、環境影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。

46 00									
世界を攻び	走行自動車の			0					
は工作工地文工地文	在林道の存		0	0	0	0	0	0	
	等の設置 及び林道 切土工等	. 0							0
米箱・土事の	の課題 指数機械			0					
の区分戦後の	国 湖 章	高り 土砂による水の	地質重要な地形及び	日すべき生息地重要な種及び注	落重要な種及び群	る生態系 地域を特徴プロ	観に主要な眺望景び界観資源並び界観資源並びまままな眺望点及主	括動の場との触れ合いの主要な人と自然	副産物組設工事に伴う
		长虹	地形及び地質					華	
\	\	水霞湖	その他の環境工権と係る環境	25	遊卷	升糖 條	疾戮	れ合いの活動の人と自然との触	廃棄物等
1	の区分環境要素	び評価されるべき態の保持を旨とし環境の自然的構成	て調查、予測及		び評価されるべき保及び自然環境の		されるべき環境型学体を旨として調査人と自然との豊か	、予想及び評価	業れるべき環境要予期及び評価さほの経度により

別表第二 林道事業に係る参考項目

素を開発を されるで 及り評価 より評価 の程度に	国 命文章:	境野泉び評価され		のない音楽	30 101												で同立 佐森郎保	1
非意用法	動の場合いの店との他れたの数れた人と自然	21.30	生物系	3 6	8.00	機 の他の版 や服装や 中確に余						※原稿				大気間報		
						地震 地形及び						無法	罗斯	***		大気質		
展物に存む型調整工作	をいっている。 の表の表面 の表面 の表面 の表面 の表面 のたたな のの なたたる のたたな のたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたたな のたたな のたたな のたたな のたたな のたたな のたたな のたたな のたたな のたたな のたな の	機械数な数を数なな数なな数なながられている。 を表して対して主要があるなどとはなるなどという。	生物系数フける地域を対しませる		単本 マンセの 東京な機 変な機		ン値段大器イオ	# 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	海災難方	の水の磨土物によ	*055	9 M	* #	報から報	\$ 資格製売	公司 即 原 区 公司 即 原 区 公司 即 原 区 公司 即 原 区	
													0	0	0	0	器数音英の宴奉	#H
	1												0	0	0	0	用いる東南の遅行資材及び機械を収録し	3
							0										ダムの現余の工事	
																	原布の採扱の工業	1
0											0						の政器 地工政備及び工事所退扱	
			- 3.5														雑枝発生士の処理の工事	
													,			1	ダムの現象の存在 道路の付着の工事	神州
							- 1										製石山の葬地の存在	帝H 森×
																	道路の存在	常な
	0	0	0	0	0	0											の存在 諸校発生土処理権の財地	選が
								0	0	0	0	0					存在がムの供用及び貯水地の	

- 三 回表第一の個考練三号から購入号までの規定は、この表において専用する。 工事の完了後、出議事の表しましましての機会を引きませる場合であった。 当該職を漢木の貯留文は散木の用に供する。工事の表では、無機を漢木の野留文は敷木の用に供する。工事の実施に伴う資材、機械及び制度物の運搬は事員により行う。 - 総収徴域を用いて、場、機が及び無例の工事を行う。 二 この表における「微視影響表図の区分」は、次に掲げる概率集の内容を除まえて区分したものである。 「○印は、各種に掲げる微塊表示が、環境影響展図の区分の指に掲げる各種図により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。 無無 0 戦の供用及び選糸区域 \$93 職及び護律の存在 土地区 ★H3至前 報研の日季 職本体の工事 万田での美産の選挙 資料及び機械等の運搬 0 0 0 9#H 運転の高速 20 本版 海津 の様 での格型 の物式の 資金数額 並びに主発機器 **许你** 2 4 非洲 祖籍排 型い字だ 報式日季 と自然と主要な人 報づける 地域を禁 及び群落重要な権 及び注目裏景な機 第点及び 主要な問 形及び地 木位地下木の されの第 生命によ 土水産の肥 路存業素 相供服务 強進報告 即じん等 國際位彰 理樂 中部 医原植物海绵 製物量が 瀬田 2000 理協 10 ED xxxx xx 無の理 母この語 題の許ら ne新な 中海道の **高級服務** | 注回 | ト | 医油 独植谷 非常 非理 索万事片 英雄米 **长虹膜**森 * 18 えの方の 密知以対 び評価されるべき環 対し下蓋 として調査、予測技能ならいの確保を管 万海南の 予解及び評価されるべき環境 #93# 境の体系的保全を目として調査 9) 海西 人と自然との豊かな 生物の多様性の確保及び自然機 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を習らして顕症、予測及び評価されるべき関境要素 別表施四 職事権に係る非承担日
- 三、別表第一の個考第三号から第八号までの規定は、この表において専用する。 可要係かの書き的に当から明人で生だり見ざれ、この異とられて明月から。 3 工事の完了後、当該事業による場所や無水を分譲させる機能を合わ数水路が存在し、かつ、当該数水路を摂水開節の用に供する。 ○ 工事の完了後、自該事業による規約や批水をもり残させる機能を含む飲水商が存在し、かつ、各談技术店を其大権のの利に共する。
 ○ 工事の実施に任う政材、職機及び制能物の運搬は金属により行う。
 ○ 建設権域を担いて、批水を分談させる高級、無限及び場的の工事を行う。
 ○ 日本における「周規影響要別の区分」は、実に掲げる数水路事業の内容を離まえて区分したものである。
 ○ 日は、各種に掲げる関境要素が、周機影響を図の区分の項に維げる各種的により影響を受ける名を行があるものであることを示す。 海家 田田 在及び物の存 0 会日報 放水路の存在及び供 土地区 会HS妥島 毎日の受謝 0 0 番目の器 洪水を分流させる施 0 0 0 商の正常の景画の裏 資材及び機構等の運 0 連載の高車効果 SHH 费油 数な挑盟 いの活動の触れ合 並びに主衆観査額 (4) (2) 地盤な下 出國帝 下による木位の住 ソ業気 製造は存 形及び地 第9米0 悪い辛び 報りなめ 及び注目 強能とか 西海绵根海海 で発用で は独学院 主要な眺 勘禁令等 無限な確 無数な職 老下木の 直要な地 あ下木の あったの 推出 p# 60 別素額の むりんゆ MR AN 地形及び 集の事 中国 合いの話れどの触れ 海田の西 の中華報の窓口集出 海海头 长宝路装 多學斯斯 液中のト 贯油 测额体 非事 龙潭 される人 及び評価より予測 164 MM GE N 10 9 び評価されるべき環 粉磨海道 として悶査、予測及触れ合いの確保を旨 予額及び評価されるべき環境 石油商の 境の体系的保全を旨として調査 貴族の韓 9)海西 人と自然との豊かな 生物の多様性の確保及び自然環 期後の自然的構成製薬の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素



鉄道及び軌道事業に係る参考項目 別表籍六

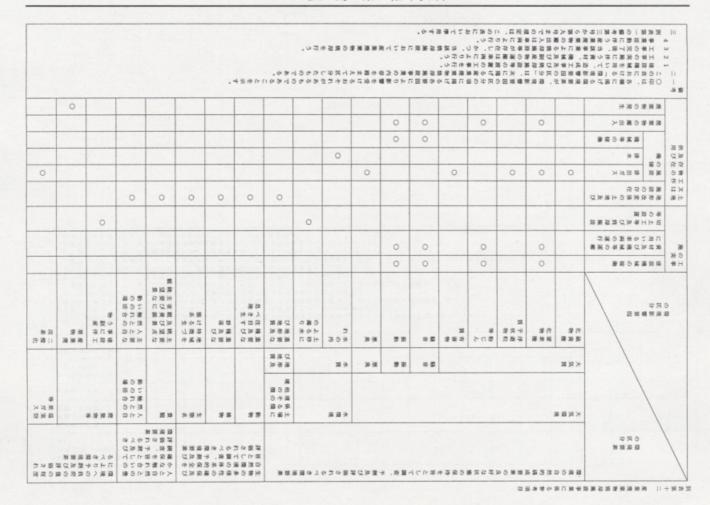
-									-		-		
動の間合いのできなったの数との数とと	差簿	生物素	海影	33	規 の他の服 を服装を 上場に保		长服款				大负眼袋		
					地質地形及び地形及び		长旗	夢策	啡提		大質質		
のいのい のの の 発力 数 は な な な な な め め め め め め め め め め め な め な	東東東東東東東東東京の 東京の東京は東京では 東京の東京 はなるの はなるの はまれた。	生態系数プける地域でも	及び群落重要な機	思 市 大 大 中 内 及 又 沿 田 田 及 及 江 田 田 な な 経 種 類 な 神 種	質形及び地質膜な光	りる水の郷土砂によ	木の形式	29 M	₩ @	数コイ象	\$ 資業額方	(风 文 (義 柳 鄭 慰 因	
4000								0	0	0	0	遊び複雑の発布	米日
								0	0	0	0	に用いる単同の選行 資材及び機械等の選載	3
						0						政等の設置 切土工等及び飛行場施	
0	0	0	0	0	0							存在機行場及びその施設の	本は
									0		0	航空機の遅続	会会の会会
							0				0	現 行場の 雑数の 供用	H K
	のいのと出 数合と 毎の第四版 のいの ボカボな 毎の第	機械機械 強減 機械 建設 ない 表現 ない ない ない のい のの は 表別 次	の		があるものであることを示す。 参照教験 を対して、企場を対し、主要が、登録に、主いの様数がは、自己の様数が注目、自の様数が注目、自己を表し、ないななない。 を対して、を表している。 を表しては、表現を称し、主要な様、主要な様、主要な様、主要な様、主要な様、主要な様、主要な様、主要な様	けるおぞれがあるものであることを示す。	り影響を受けるおそれがあるものであることを示す。	がのおき酸まえて区分したものである。 の各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。	では、 では、 では、 では、 の項に掛ける各で数まえて区分したものである。 の項に掛ける各で数により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。 の	18年の収録の工事を行う。 1. 担別の反分の現に掲げる各の関係を展まれて区分したものであることを示す。 1. 対別の区分の現に掲げるも数にに、影響を受ける名を打があるものであることを示す。 2. (が来行場所数数の収録のCTMを作り。1分(は、大に掲げる表析を整定的である。1分)は、大に掲げる表別を発生されて区分したものである。 「現実影響製別の区分の項に掲げる各数図により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	成工事及び飛行場施設等の設置の工事を行う。 ■要担の区分には、次に掲げる発行を発生を設定されたものである。 「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」 「「「「「「「」」」」」 「「「「」」」 「「「」」」 「「」 「「」」 「「」」 「「 「」 「「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	様の機の選択ので、対しての機能のので、対しての機能のの影響としての影響を引きる事所の選択しての影響を引きる事所の選択して、「「」」という事所の選択して、「」」、「」」はおり、「」」はおり、「」」は、「」」は、「」」は、「」」は、「」」は、「」」は、「」」は、「」」

3 2 2 1 9 14 1		4 も発電機(及び耐能) (及び耐能) (をはびに登りませる。)	政及び即物の運搬物の運搬電場設及	水池等がなな事間によりは水田である。 ないの水池を持ちる水土	を住し、かいりでいる。 かり行う。 その設置ので発展ので発展を発展を	7、当該党 1事を行う。 16内容を16の内容を1	2000年100分間	7506	.0-8+	1 de 30 A S	. → 洲 帯 (+)							
	2.米色版米					0												
20 5	の存在発電機数の供用及び貯水池					0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	
	の存在 地形改変後の土地及び施設															0		
	放露り上工事及び発電路等の						0				0							0
35	いる東京の選行資料を以び機関等の運搬に用	0	0	0	0													
E 4	事業の高温技術	0	0	0	0											2599		
全図 9 競遊園	医液 糖 预关	登市 衛林縣	称響いる	20 個	罗莱	# #0#	の概なったの余	完 解後職	東東	**	東半ン様	以 地形 地形及 電景な	が が が が の の の の の の の の の の の の の	数数の対象を対し、	器形 立の利 学袋力 変数の	機構主然機及業土 設度が実の過度が必要なにが、対してが、対して、対象のでは、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が	動の職の保証の経験がある。 関したとなる。 実力のなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	数の数に発生に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に
		大贫民		10 KD	20	**						び地質地形を						
		大食限品				※四米						機合の機能を発展した。 機を配ける。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな	23	36	分散化	無知	動の場合のの機能などの数との人と自	等 高級能
1	の内分												開発器中	36		もべき環子器を及び		要素を登録さればなる。 は、対していないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、

様 版式と 商価官	4	李湖海	動いのの様式というない。	震域	34 提 16		95		99	機の物質を必要を受ける。						米四米						,	大災難者		
										び地質地形を	市の街	飛艇				长辉	罗索	申節					大気質		
	発整	心型系 サバ东	動い艦艦人主 ののれたと要 場絡中の日存	機械主体機及機主機関の機能を受ける機能が関係が関係が関係が関係を関係が関係を表する。	北線北			金融の一体の形式	親友が	地形及監察な	が対域を対して	政 在排墊	数头		の表を表していません。	## #8	3 H	中個	数の方		工 企 工 社 社 社 社 社 社 社 社 社 社 社 社 社 は は は は は は	参 壳 養無額	完	双华 政策整政团	
		4 7															0	0	0		10	0		おが最高の発電	
																	0	0	0			0		に用いる東西の運行資料を及び機械等の運搬	
			14.30									0			0									HU42ac	
		0													0									等の投票 切土工等及び発電施設	
			0	0	0	0	0	0	0	0	0									0				無政の存在地形改変後の土地及び	54
0																					0	0	0	の 報収 単出ガス	R
			3			0		0			0		0	0		0								道容长 卷 容长	AL CK
																	0	0		0				産業等の政策	
																	0	0	0			0	0	資料等の提出人	
T	0								1															既棄物の発生	39

2000年	割及び2	もべき 間により子 間接への	おべき割及びとして合いの	開発を表現の対象を開発を表現を表現を表現を表現を表現をある。	割及び	ころべき間を調査、予算の体系的は、 とは、予算性の変化の	自然原理			· Fantx									の四分間後収集	1
専門を対し、		感报告降	のの のの のの のの のの のの の の の の の の の の の の	25 19	科觀底	9 8	33	施の間の関係を引きる。 関手の発達を関する。 上様に		英麗法								大気環境		
								び地質地形を		米製	海海	20 元	**					大気質		
· 京縣 (二 蘇 六	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	あり 関い 関い 関い 対対 対対	動い触然人主 ののれとと要 単語合の自な	機能主要機及執主 関策び乗び乗び 要なに要乗点な	発力の発展を存在した。	数数の数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数	思 人 往 機 機 続 き 目 及 膜 生 す び な	び絶異 地形要 質及な	の概の上書を大	# O # E	X0 (3)(19 W1	*\$	建 在 報 章	事物による	致 子 政 版 扶 数 数 数	参行 養粉質	** 養寒	界藝版図	図 5 海道
							-					0	0		0		0		政権支付課金	海 岩
												0	0		0		0		用いる中国の運行材及び機械等の運搬	Mi
		0							0										の設置土工等及び携却施設	
			0	0	0	0	0	0											政の存在形改変後の土地及び	# # # I
0										0	0			0		0	0	0	章	9 A
												0	0						職業等の募集	# G
												0	0		0		0		景物の搬出人	78
	0																		素物の発生	28

海蓋命入	疾棄物等 炭素 開発・評価された	との権力人と自然力を保証しているべき限	実数 収扱体 ご評価さて ハラト間を	生物 化	海野	の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の観点を必要に発生		长醛款					大気磨袋	の刃な 臓乳取制	\
		間の確合					高の音の間									
							地質地形及び		* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	>= 0x	要账	**		大賞賞		
\$ 表示順		のいのと 種の敷自療 部的熱角療 動合と人	東東東東東東東東東東東東 東京の東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京東京	生産が、 発力でも 地質を禁	及び群隊展開なる職権	ありません おいない を は なな を を を を を を を を を を を を を を を を	無形及びの地震などの地震など	りる水の郷土物によ	大の形式	>> ±0.	罗州	***	都の名象	· 管 保護器方	四級 明明 (2)	区分级
	70 X 25 X										0	0	0	0	事業の英海対策	大権の主事の
											0	0	0	0	に用いる東国の運行 資材及び機械等の運搬	
	0							0							等の設置 切土工等及び処理施設	
		0	0	0	0	0	0								施設の存在地形改変後の土地及び	物の存は工作を建え
									0	0	0	0			施設の募集	
0											0	0	0	0	産業物の発生し尿等の搬出入	
0					4%年。	C+ C+ O+ O+ O+	.00000	网络口齿电	13でし戻の なを踏まえた 5つ影響を受	(理解数にお	5つ、当該的14人の行う。 1まり行う。 1事を行う。 1家発展施設	行う。存在し、小様は本質にの数量の下に掲げるに	年間により連絡設等が開発物の運動の選出を表の選出を表すって、実力には、実力には、実	搬出入は 選出人 は 機能 及び 機能 及び 電路 及び ままない 要素 及び ご 手事 及び ご 要因の 区 に 要因の 区 に		4 & 22 =



れるべ棚及び	経験のよりを表現のようの表現のようの人	るべきがある。	調査、予確保を与かな他の	謝及び、保全を	でってき 環境の体系的な 単独性の 単独性の 単独性の 単独性の 単独性の 単独性の 単独性の 単独性の	留として 自然環境		,	w ac w	m 2 de 2	2 保御期	C M M 4	- 地面内	(金額の)	事物の情	医环位表	9 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	# 3 it	10 日本報	の四分野疾患素	1
等 果 姓 監 全 定 2	操 新账	野い素然人のの対から のの対から 自のののの 自	悪海	州製庫	20 名	83	強的なの職業をの職業をの職業を関する職業を関する職業を関する。						米酸素					1	大気服器		
							び地質地形を	想下水	飛貨				米賞	>> (%	罗案	申報			大質質		
	等 ウ 単 展 正 戻 展 王 戻 日 王 正 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	動い触然人主 ののれとと要 導路合の自な	観眺主意観及眺主 望要び遊び望要 景なに遊景点な	展展でいる。 お後で 発展が 発展を			び地震 地形膜 質及な		2000年			のよけの場合の表示	# # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	>= (s)	3 W.	**	数でも	参 会 機 業 務	参 壳 養減額	安原 医烟糖素	のの職業
				17/3											0	0	0	0		事業の業事対当	おりませ
				1999													0	0	0	環立) 作業船の降機 (水面	18
															0	0	0	0		行 搬に用いる東国の選択対反機関の選択対反機関の必要	
				1													0	0	0	航(水面地立) 搬に用いる船舶の運 資材及び機械等の運	
	0											0								数章(陸上地立)切土工等及び施設の	
									0			0								増立() 減収等の設置(水面 場防工、護摩工及び	
		0	0	0	0	0	0	0												(陰上埋立) 最終処分場の存在	本は大本土地
C			183								0	-	0							(水面銀立) 最終処分場の存在	を発え
						1			273			0			0	0	0			探告 単立・第十四機械の	
						38.		417							0	0				機 終出策処器施数の確	-

			.03	5 藤 付 你 前	.041	事を行う、選立と	政策の工語(指域とも、	1歳年の15年末	の行う。 策処理権 行う。 験上理な 分したも	の を と と と と と と と と と と と と と と と と と と	日本年間の関係のには、 大人の東国国際のできた。 大人の東国国際のできた。 大会がなりに又称。 大会がない はい	2.10年の名前の名前の名前の名前の名前の名前の名前を表現できませる。 一般 東京 はは は は は は は は は は は は は は は は は は は	入りのでは、 大力は関連の対しては、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	1988年	産業を受ける。 のの意味を表している。 ののは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 というには、 はいました。 はいましたました。 はいました。 はいましたました。 はいましたました。 はいました。 はいました。 はいました。 はいました。 はいました。 はいました。 はいました。 はいました。	整整の米米装装業のにに関連を対象を図ります。 本本業ににび至の分 のの発音等をできた。	部部である 大学 のの 単語 を のの 単語 のの 単語 のの 単語 を は のの 単語 を は のの 単語 一部 第一日 第二日 書 を しゅう	大田 大田 大田 田 大田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田
								0	0		0				1995			(水面単位) 鉄出策処理水の葬出
								0		1	0							(験上地立) 貸出策処罪水の終出
0												0	-					奥漢物の存在・分解
															0	0	0	選紋(水面建立) 連線に用いる船舶の 疾薬物及び種土材の
													0	0	0	0	-	選行 服器に用いる単度の

が は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	10分割を	調査、主導保を開業を	は 変弱・	でくき間割り、予問を表別の	4 C U M											38	の四分版表表表	\
	動い機然人 のの対かい 日のの白	東京	代额底	32	33	機構の機能をの機能をの機能を発生の発生を発きる機能を関していません。				长圆块					×	大気限		
						び地質地形形を	飛艇			m *	罗策	* *				大質質		
おりません。 単元は はない	数い数然人生 ののれとと版 単活合の'自な	観眺主並製及眺主 望要び近び望要 単なに凝発点な	政権がいる生産権の対象を対象を対象を	数数数額数など	息 へ 注 種 重 地 き 日 及 変 生 す ぴ な	び 処 異 格 形 要 質 及 な	沒 養養		の職りよる水土を大	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	學服	* 5	称数にん	實 子 以 持	零 壳 瓣 瓣		医细胞 教徒	
											0	0	0		0	0	建設機械及び作業船の破機	事の会
											0	0	0		0	0	る車両の運行又は船舶の運転 資材及び機械等の運搬に用い	
0							0		0								場防工及び機能工	
		-															推立工及び工場等の政備	7-10-1
	0	0	0	0	0	0		0		0	0	0		0	0	0	工場等における事業活動 様立地及び工場等の存在	おおなり、
				7							0 .	0	0		0	0	資材等の搬出入	現る